

「第2回流域管理と地域計画の連携方策に関するワークショップ」プログラム

流域管理と地域計画の連携方策研究小委員会

1. 開催趣旨

流域管理と地域計画の連携方策研究小委員会は、土木学会水工学委員会と土木計画学研究委員会の研究者からなる両委員会共同所管の小委員会として平成14年10月に設立されました。

小委員会では、水工学と土木計画学に携わる研究者および都市と河川行政関係者が今後の流域管理と地域計画の具体的な連携方策について議論し、国土交通省水管理・国土保全局の河川砂防技術研究開発制度等と連携して特定課題について共同研究等を実施することにより、流域管理と都市・地域計画の相互連携による総合的な街づくりの実現を目指しています。

また近年、水害が頻発・激甚化するとともに、渇水の頻発や深刻化の懸念が指摘されている中、水害に対する流域の安全性の向上や健全な水・物質循環系の構築等、流域計画・流域管理上の技術課題や政策課題を解決するためには、河川、都市計画の両分野に加え、下水道分野との連携が従来にも増して重要となっており、環境工学委員会との連携にも取り組み始めたところです。

昨年度に引き続き、「流域管理と地域計画の連携方策に関するワークショップ」と題して、流域管理と地域計画の連携方策に関する取り組みやその課題等を土木学会会員と行政で共有するとともに、これらの課題に対する理解を深めていきたいと考えています。皆様のご参加をお待ちしています。

2. 開催日時、場所等

日時：平成26年11月25日（火）14:00～17:00

場所：土木学会講堂（東京）<http://www.jsce.or.jp/contact/map.shtml>

主催：土木学会 流域管理と地域計画の連携方策研究小委員会、水工学委員会、土木計画学研究委員会

3. プログラム（タイトルは仮題）

（1）趣旨説明

（2）基調講演

・「気候変動に適応した治水対策のあり方について」 中央大学研究開発機構教授 福岡 捷二

・「気候変動を踏まえたまちづくりと治水対策の連携方策について」

東京工業大学大学院社会理工学研究科教授 中井 検裕

・「下水道と河川との連携方策について」 東京大学大学院工学系研究科教授 古米 弘明

（3）流域管理と地域計画の連携に向けた取り組み

・東京都における河川と下水道の連携（東京都）

・国の取り組み状況（国土交通省都市局、水管理・国土保全局、下水道部）

・河川砂防技術研究開発公募の流域計画・流域管理課題分野について（国土交通省水管理・国土保全局）

・浸水リスクの変化とその提示内容改善が将来の人口分布・土地利用に与える影響とそれらを考慮した水害リスク軽減対策に関する研究（八千代エンジニアリング株式会社 石徹白 伸也）

（4）全体討議

※終了後、懇親会を予定しています。

4. 参加申し込み

参加費：無料（懇親会費：3,000円（予定））

申し込み方法：電子メールで下記の宛先までお申し込みください。

その際、ご所属・勤務先、お名前、電子メールアドレス、懇親会の出欠をお知らせください。

（宛先） 京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻 立川 康人

ws@hywr.kuciv.kyoto-u.ac.jp

申し込み〆切：平成26年11月14日（金）

（問い合わせ先） 京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻 立川 康人

Tel:075-383-3362, tachikawa@hywr.kuciv.kyoto-u.ac.jp

国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 堤 達也

Tel:03-5253-8446, tsutsumi-t2ie@mlit.go.jp